

普及活動情勢報告（令和7年1月分）

高吾農業改良普及所

厳寒期の栽培管理はどうしてる？ ～促成高糖度トマト現地検討会を開催～



現地検討会の様子

1月15日、JA高知県日高支所ハウス園芸部が促成高糖度トマトの現地検討会を開催し、7戸(9名)が参加しました。
普及所は天候に応じた遮光の実施や病虫害の発生状況についての栽培講習を行いました。また、実施先のほ場主からは、現在の樹勢やかん水管理、温度管理等について説明してもらいました。
生産者からは、「1回のかん水時間はどれぐらいなのか」「今後の水管理はどうするか」など活発な意見交換が行われました。
普及所は今後も個別巡回や定期的な栽培講習を通して、促成高糖度トマトの安定生産を図っていきます。

適正管理で所得の向上を！ ～サンショウの剪定講習会を開催～



58人が参加した
剪定講習会の様子

1月21日、越知町片岡地区でヒューマンライフ土佐がサンショウの剪定講習会を開催し、越知町山椒組合の生産者や関係機関職員等計58名が参加しました。普及所は落葉樹であるサンショウの特性を踏まえた、作業性や通気性、日照の改善、隔年結果防止の剪定方法を説明しました。
剪定の実演を見た参加者から「剪定率は3割程度か。」「取り除くべき枝はどれか。」など、熱心に質問が出されました。
サンショウは需要が多く単価も良いことから、普及所は令和7年度産の生産振興に向け、今後も防除や施肥を指導するとともに、産地の拡大に向けた新植も呼びかけていきます。

新規就農者就農状況報告会 ～個別面談にて状況確認～



個別面談の様子

普及所は、1月15日から27日にかけて新規就農者の半年間の営農状況を面談により確認しました。対象農家は施設園芸品目や露地園芸品目で営農している8人で、個々の栽培状況及び出荷データをもとにR6年決算の見通しについて聞き取りを行いました。
生産者から「R7園芸年度の取り組みについてしっかり意識して取り組んだ結果、安定栽培につながっている」、「高温対策として遮熱資材を導入したが、さらに育苗期の培地を工夫したい」など進捗状況について確認しました。
普及所では、現地巡回指導を重点的に実施して新規就農者が目標達成できるよう支援を継続していきます。